



なめがわ地域 福祉支援センターHP <https://www.kokoro.or.jp/namefuku>



なめがわ地域 福祉支援センター



〒355-0811

埼玉県比企郡滑川町大字羽尾 1041-7

TEL0493-81-5101/FAX0493-81-5102



超高齢社会をどう支えるか

なめがわ地域 福祉支援センター
センター長 かねこ ひろゆき

日頃よりなめがわ地域 福祉支援センター(以下:なめ福)をご利用頂き、深く感謝申し上げます。昨年8月に鶴ヶ島市で「訪問看護ステーション こころ」を開設し、1年と2カ月が経ちました。紆余曲折ありましたが、お陰様で無事に一周年を迎え、訪問件数を増やす事が出来ました。利用者様をはじめ、地域の医療関係者の皆様にこの場をお借りして深く感謝申し上げます。そして今後とも宜しくお願い申し上げます。

さて、2040年が高齢者である65歳以上の人口がピークを迎える年です。その人口数は総務省の統計データによると3,921万人と言われ、総人口の11,092万人に対し35.3%の割合です。これは三人に一人以上が高齢者になるという事です。これに加え、昨年の2024年の一年間に生まれた日本人の子ども数は68万人と、前年より4万人余りが減少し、1899年に統計を取り始めた以降減少しており、初めて70万人を下回りました。また、1人の女性が子供を産む数の指標となる合計特殊出生率は去年1.15人となり、これまでで最も低くなっています。そういった背景があり、今事業所に於ける働き手の人員不足問題が発生しております。求人では有効求人倍率が上昇するいわゆる売り手市場と言われる中、私達医療、介護、障害福祉分野でも同様の問題が起きています。これが近い将来、高齢化と少子化によって更に厳しくなっていくと思います。そういった問題に対し取り組んでいかなければならないのは高齢者雇用、外国人雇用、障害者雇用です。高齢者雇用では、積極的な新規採用はもちろんの事、常勤で長く勤めて頂いた職員が定年退職後に再雇用で継続して働いて頂ける様に、働きやすい環境、そして何より仕事が楽しくて定年後もまだここで働きたいと思ってもらう様に事業所側は考えなければなりません。最近ではハラスメントといった言葉が定着しつつありますが、そういった事がない、風通しの良い職場が必須と言えます。次に外国人労働者についてですが、当法人に於いても介護職で採用している事業所がありますが、介護だけではない職種に於いても働いてほしいという時代が近い将来やってくると思います。その折には、外国人という偏見は一切持たず、一緒に働く仲間として捉え、迎え入れるという配慮が大切です。最後に障害者雇用ですが、なめ福に於いては法人内事業所への就職をはじめ、一般企業への就職支援、そして就職後も長く勤められるよう、定着支援にも力を入れています。その中で利用者様自身がやりたい仕事をしたいという思いを大事にしております。この三つの雇用に於いて、共通して言える事は皆が楽しく仕事をする事が一番です。その為、私に取り組むべき使命はより良い職場環境の構築です。今いる職員が今後も楽しく仕事が出来、定年退職時にはここで働いて良かったと思える職場にする様、日々職員とコミュニケーションを取っています。私は職員の考えや意思を尊重し、基本的には否定はしません。職員がやりたい事を実現すべく、どうしたらできるかという事を一緒に考えながら、楽しく仕事出来る様に今後も取り組んで参ります。

■指定居宅介護支援事業所 いづみ



自分の子供の育児期間と高齢になった両親の身体機能、認知機能の低下により手助けが必要になる介護期間が重なる事を「ダブルケア」と言います。育児と介護の期間が重なる事だけがダブルケアと思われがちですが、両親 2 人が同じ時期に介護が必要な状態になる事や、親と配偶者が同時期に介護が必要とする事もダブルケアと言います。女性への負担が大きく、離職や転職を余儀なくされる経済的負担に加え、孤立等による精神面の負担等があります。ダブルケアになりそうと感じたら早めに自治体の相談窓口や地域包括支援センターへの相談、介護保険制度について調べ支援方法なども確認しておく事が大切です。

その他介護の事でお困りの事がありましたら下記までご連絡下さい。

お問い合わせ先: ☎ 0493(57)2226(月曜～金曜 8:30～16:30) 担当:しまだ

■特定・一般相談支援事業所 なめがわ



相談支援事業所 なめがわでは自分では対処できない緊急事態が発生した時、常に連絡がとれる体制を確保し、緊急訪問や相談などの支援を行っています。入所施設や精神科病院から退所、退院した方、家族との同居から一人暮らしに移行した方、現に一人暮らしをしており、緊急事態が発生した時に支援を受けることができない方、家族と同居していても、家族が病気や障害を持ち、緊急事態の対応ができない方が対象です。

具体的な支援として、定期的な面接や状況把握、緊急時の電話相談や訪問相談、利用しているサービス事業者との情報共有、社会資源に関する情報提供などがあります。

お気軽にお問い合わせください。



お問い合わせ先: ☎ 0493(53)4761(月曜～金曜 8:30～16:30) 担当:あきや

■おとなの学校 ～ 毎週水曜日に開校中～

「大人の学校」とは学校を模した授業形式で学ぶことにより、高齢者の方々の意欲を高め、心身の活性化をはかる新しい高齢者のケアです。毎月更新される教科書を中心に、国語、算数、理科、社会、音楽、家庭科、保健、体育の教科から選択し授業を行います。

教科書で問題を解く・覚えることよりも、昔を思い出して活発に発言していただくことを大切にしています。講師も参加者の方々から貴重なお話や体験を伺い、一緒に学ぶという気持ちで教壇に立っています。



開催場所: 当センター2階 多目的ルーム

開催曜日: 毎週水曜日(祝日を除く)

開催時間: 13:30～15:00

お問合せ: 0493(81)5101

(月曜～金曜 8:30～16:30)

担当: とさか



テキスト

編集後記

30度以上の暑い日はまだ続いています。秋はどこへ行ってしまったのでしょうか。急に気温が下がると体調を崩しやすいのでお気を付け下さい。

編集担当: かねこ

※個人情報の保護の観点から氏名の表記はひらがなとさせていただきます